

## 豊かな心を育てる道徳教育の推進 ～ “えがおとつながりを大切にしている学校” を目指して～

千葉県流山市立八木南小学校 佐藤 智子

### I 現状と課題

#### 1 現状認識

本校では、教科化の意義の共通認識はできていたが、授業改善への具体的な動きや、道徳科と各教育活動の有機的なつながりや計画性が不十分な状況だった。

また、協力的な地域性や、異年齢集団活動があるとはいえ、取組のマンネリ化という現状が見られた。

#### 2 課題分析・アプローチの視点

授業改善という課題解決に向けて、道徳教育推進教師育成や研修充実へのアプローチのため、「人材育成」という視点を据えた。地域性を生かし、目的や教育課程との関連性を明確にした異年齢集団活動の工夫という課題に対しては、「カリキュラム・マネジメント」の視点を持ち、児童や教師が「主体的、対話的に」学べるアプローチを心がけた。

いずれも“えがおとつながりを大切にしている学校”を目指す学校像として意識し、活動や学習の軸として取り組んだ。

### II 研究の概要

#### 1 授業改善【人材育成の視点】

##### (1) 道徳教育推進教師の育成

昨年度中に若手を推進教師に抜擢した。校長と共に公開研究会への参加、校長による授業と推進教師の授業の相互参観等により、「考え、議論する道徳」を学び合い、学校経営方針に基づいて「道徳教育全体計画」を共に作成した。

##### (2) 具体的方策

###### ①年間計画に沿った授業実施

- ・職員室道徳コーナーでの教材実施チェック
- ・週案への記入(第○回・内容項目・教材名)と管理職の点検

###### ②校内研修の充実

- ・校長による授業改善の講義(年2回)と日常の授業指導
- ・推進教師による外部研修の伝達講習
- ・推進教師による研究授業と全職員によるグループ討議
- ・「主体的な学びのための発問の工夫」の校内研究

###### ③モラルアップ委員会とのタイアップ

- ・推進教師とモラルアップ委員長の兼任組織にし、モラルアップ委員会主催ボトムアップ型研修を実施。H29はいじめ、H30はLGBTについて演習形式で行った。
- ・金曜日日報裏面に「全学級道徳授業予定」を掲載し、相互参観の呼びかけ、評価文例の学び合いを実施。

###### ④「魅力ある授業づくりの達人」(県の事業)の活用

道徳の達人認定教諭を(推進教師の研究授業録画を視聴の上で)招聘し、授業力向上のためのアドバイスをもらう。

#### 2 家庭や地域と連携した取組と異年齢集団活動【カリキュラム・マネジメントの視点】

##### (1) 道徳教育の特質に応じた既存の教育活動の見直し

- ①高齢者との交流「いきいきサロン」(3年生)

総合的学習の年間テーマ「福祉」の中に位置づけ、内容項目「親切、思いやり」の道徳学習と関連づけて行う。

##### ②「八木の里」の過去・現在・未来(5年生)

故郷の「八木の里」を調べ、議論し、未来を考える合科(国語・社会・図工・総合)学習を、内容項目「国や郷土を愛する態度」の道徳学習と関連づけて行う。地域の方に向けて発信(授業参観・学習発表会)もし、対話的な学習を仕組む。

##### ③児童会の挨拶運動

「あかるく・いつも・さきに・つたわる大ききさで」の合い言葉を浸透させる(校長率先の基、全職員の呼びかけを徹底・地域に発信)。また、児童会での「お元気隊活動」(1学級3,4人の隊員から始め、お元気リボンをリレーする)を、内容項目「礼儀」の道徳学習と関連づけて実施する。

##### ④「八木南祭」の実施(6年生が下級生を楽しませる)

異年齢集団活動を内容項目「より良い集団生活の充実」と関連づけ、下級生全員が協力して楽しめるよう実施。

#### (2) 新たな取組

##### ①全学級の道徳授業の参観

学校関係者評価委員会において実施し、道徳性の面から地域での児童の姿を、推進教師も交えて話し合う。

##### ②「花いっぱい活動」(手作りの花器に生けた花を高齢者施設に届けて交流)への参加(3年生)

内容項目「思いやり」、総合学習「福祉」と関連づけ、合唱等も披露する。地元企業やボランティアの方とも関わる。

##### ③「がん教育」への取組(6年生)

内容項目「生命の尊重」、保健「病気の予防」、キャリア教育と関連づけ、がんセンター医師の授業を受ける。

### III 成果と課題

#### 1 成果

【人材育成の視点】若年層中心に意欲的に道徳に取り組む風土ができ、道徳教育への組織的積極的な取組により、学校経営方針の具現化を実感できた。【カリマネの視点】教育活動と道徳教育との相互関連を図ったことで、“えがおとつながりを大切にしている学校”の実現に近づいた。

#### 2 課題

【人材育成の視点】授業改善に向けた日常的で継続的な取組。【カリマネの視点】活動を点ではなく線で繋げるための、教師個々のカリキュラム・マネジメント意識の向上。

### IV 提言

【人材育成の視点】推進教師の育成を人材育成の柱にし、若年層教員育成やモラルアップ委員会機能向上に繋げる。

【カリマネの視点】既存の教育活動見直しや新たな活動発案の際、道徳教育との関連を図るリーダーシップを校長が取り、各主任や外部機関との連携を推進する。